

自己評価結果

1.本園の教育目標

・明るくのびのび元良く・豊かな心を大切に・みんな仲良く手をつなごう・自分で考え自分でできる

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

1.進んで取り組む子を育てる。2.体を使って遊ぶことを楽しむ。3.いろいろな人との関わりを通じて思いやりのある子を育てる。

3.評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育の計画性	園の教育課程は幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い適正に編成されている。
教職員体制の充実	決められたクラス担任のほかに各クラスに職員の加配を行って、複数で園児を見る体制を整えている。
教育環境の構成	安全で清潔感のある環境構成に努め、指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境の再構成を行っている。
研修や研究	研修会や研究会には自己課題を持って進んで参加をし、今後の保育に役立てるとともに、保育者間でも伝達を行い知識の共有をしている。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

①様々な活動や行事を通じて体験したことを遊びや生活に取り入れる援助の工夫が適切に行われ園児の自主性の向上につながった。②外部講師によるリトミックの指導を通じてリズム感を活かして体を動かす楽しさを十分に味わった。③同年齢だけでなく、異年齢の友達との交流でも、進んで話しかけたり、優しく関わろうとする姿が見られた。以上の点から概ね目標は達成できたと評価できる。

5.今後取り組むべき課題

リズム遊びや鬼ごっこ、運動遊びを使った遊びなど、体を動かす楽しさが味わえる遊びを更に充実させるとともに、子どもの遊びの様子をよく観察して、相手の立場になって考える大切さを教える。